かがやく笑顔

山梨県立やまびこ支援学校
相談支援部通信
令和４年　３月１７日発行

＊「かがやく笑顔」はやまびこ支援学校の校訓です

暖かい日差しが降り注ぎ、春の足音が感じられる季節となりました。園や学校、また関係機関の皆様には、今年度も本校の地域支援活動につきまして、御活用いただきありがとうございました。昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大が続いており、本校における地域支援業務においても制限や調整をさせていただくことがあり、御迷惑をおかけしました。そのような状況下でしたが、富士・東部教育事務所や各市村教育委員会をはじめとする多くの関係者の皆様の御理解と御協力に支えられ、今年度も東部地域の特別支援教育にかかわるセンター的機能の業務を実施することができました。今後も地域の皆様とともに、子ども達一人一人にとって必要かつ適切な支援を一緒に考えさせていただきたいと思います。本号では今年度の相談支援にかかわる活動状況をお知らせします。

令和３年度　やまびこ支援学校　地域支援状況について

	幼	小	中	高	その他	合計
教育相談	9	6	14	0	0	29
訪問支援	3	15	13	0	0	31
研修支援	0	3	0	0	1	4
合計	12	24	27	0	1	64

※ケース数での集計となっています

【教育相談】

感染症蔓延防止の観点から、全て個別対応とし幼児児童生徒、保護者、学校関係者への相談を行いました。進路決定時期よりも早い段階からの相談が増え、複数回の教育相談・授業体験を実施した上で進路を決定する様子が見られています。一人一人がじっくりとよりよい学びの場を選択できるような適切な情報提供と時間の確保の重要性を感じました。本校としても、今後も相談や見学・授業体験などを充実させていきたいと思います。

【訪問支援】

支援要請の多くが発達に偏りが疑われる児童生徒の指導支援にかかわる内容であり、一人一人のつまずきを見取るアセスメントとともに、本人の特性だけではなく保護者の理解、保護者の養育能力など家庭環境を含めた総合的な課題があり、関係機関との連携の意識や認識も必要とされることを再確認しました。

【研修支援】

各校からの校内学習会等での講義や連携機関主催の研修会への参加の依頼をいただきました。今後も子ども理解や先生方の実践に活きるよう、来年度も有益な研修を実施していきたいと思います。

令和３年度　外部専門家活用について

本校には心理士が2名、作業療法士が1名配置されています。日々の相談では支援の方向性や自立活動の指導内容や方法の提案をいただき、支援・指導の改善につなぐことができました。また、校内では基礎研修会（心理士、OT）、事例研究会、（心理士）、実技研修会（PT）を実施し、専門的な視点からの児童生徒の実態の捉えなおしや問題行動の背景や課題の整理に活かすことができました。今年度は校外でも OT による帯同訪問、心理士による研修会を実施しました。今後も専門家の同行が必要な場合には御相談ください。

活用状況は以下の通りです。

	小学部	中学部	高等部	外部	合計
心理士①	2	9	9	0	20
心理士②	2	5	5	1	13
OT	9	4	2	2	17
PT	5	3	1	0	9
合計	18	21	17	3	59

※PT は学期に１回の相談を実施

※ケース数での集計となっています

事例研究会

基礎研修会（OT）

実技研修会（PT）

新年度に向けて

進級や就学・進学の際に、担任や担当の先生は、環境が変わっても子ども達がスムーズに学校生活を送るために引継ぎの在り方が重要です。子どもの実態や課題点、また有効な支援方法についてまとめ、先生方が積み重ねてきた成果を次年度につなげられるように御準備をお願いいたします。山梨県教育委員会より出されている「個別の教育支援計画」や「中高連携シート」等も活用できるのではないでしょうか。

また、今年度は校外からの来校や訪問を制限させていただきた時期がありましたが、就学・進学にかかわる御相談は先を見据えた進路選択をしていくために、早い時期からの相談をお勧めします。すぐに来校や訪問が難しい場合でも、電話相談は随時受け付けていますので今後も御活用ください。また、来年度はオープンスクールを開催する予定です。詳細については改めて連絡させていただきますので、御確認ください。

【問い合わせ】山梨県立やまびこ支援学校　　〒409-0618　大月市猿橋町桂台３丁目31－1

TEL　0554-23-1943　　FAX　0554-23-1946

E-mail　soudanshien@yamabikoy.kai.ed.jp

相談支援担当：小林 由季、犬飼俊太郎